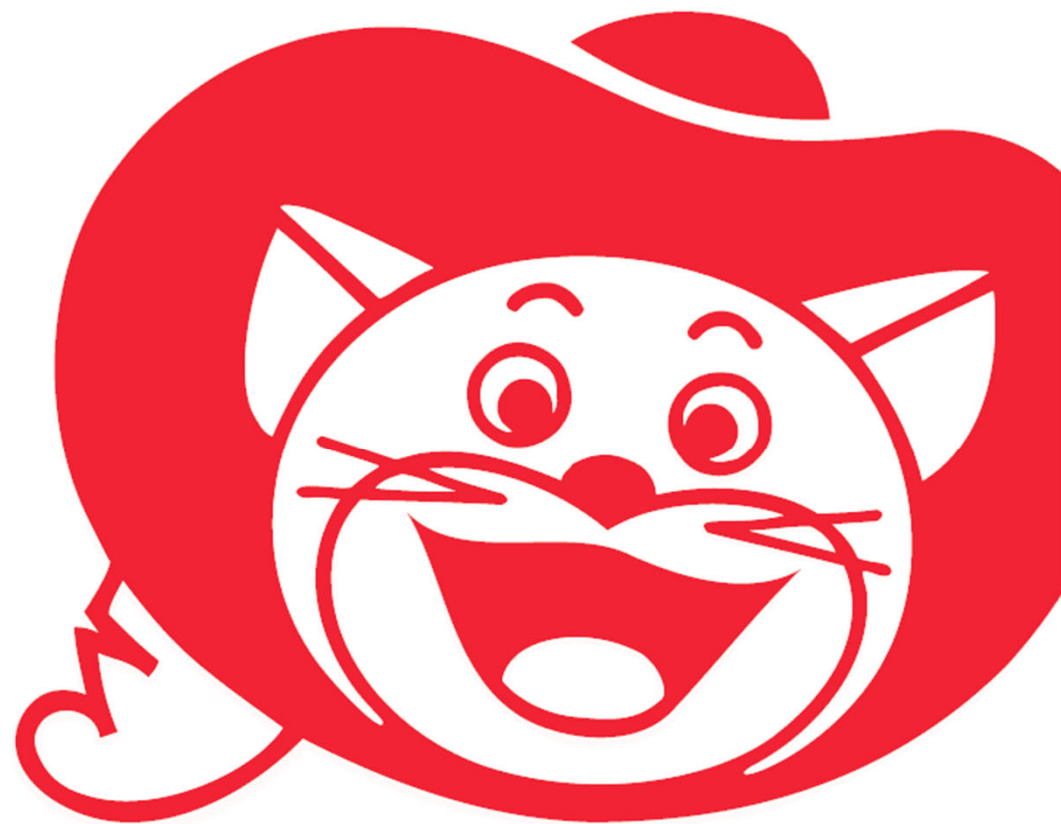


決算補足資料

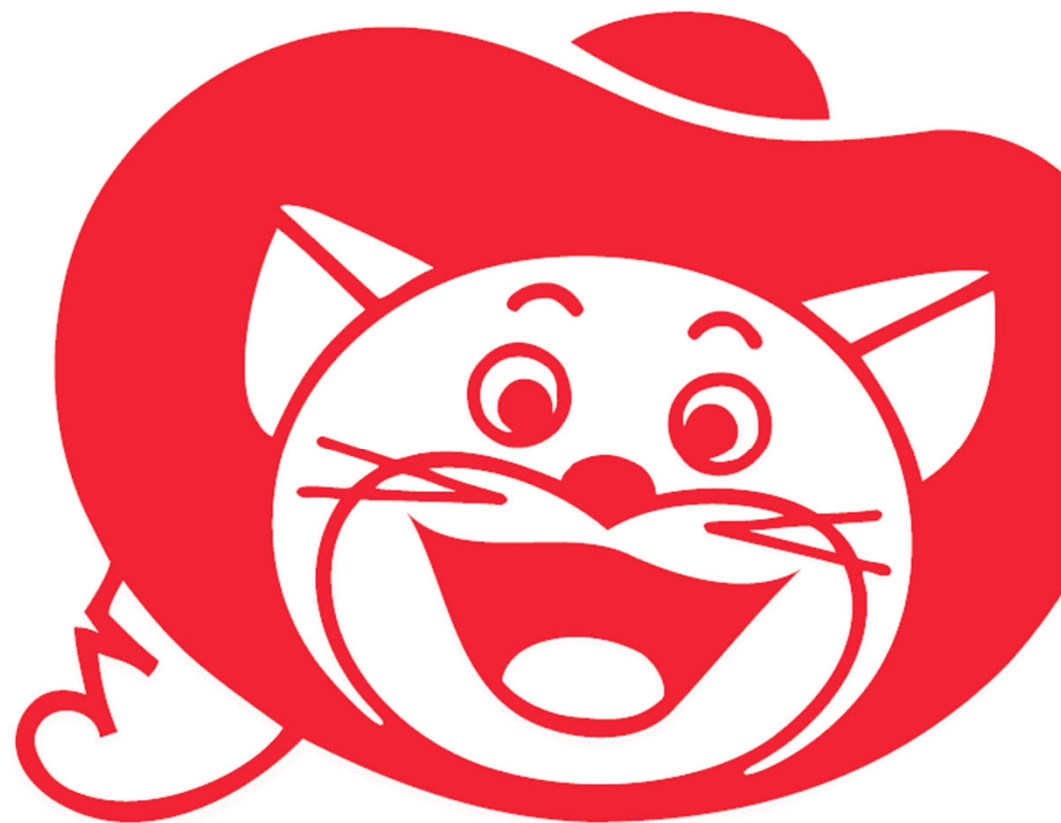


2026年3月期 第3四半期決算(2025/4～2025/12)
東映アニメーション株式会社

TOEI ANIMATION CO.,LTD.

CONTENTS

- 01. 2026年3月期 第3四半期
業績報告
- 02. 今期の見通し
- 03. 今後の事業展望



01. 2026年3月期第3四半期 業績報告



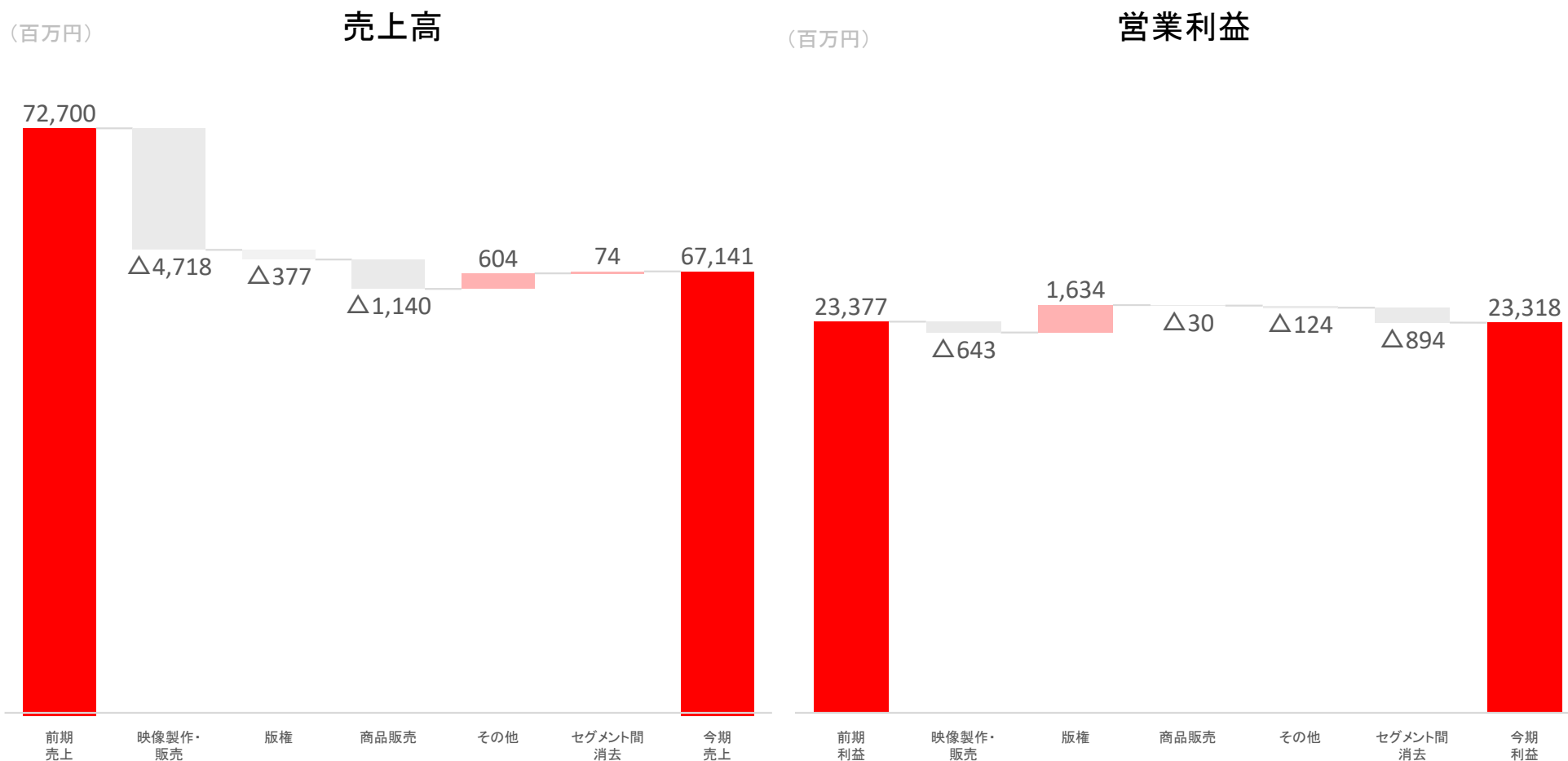
決算サマリー

- 第3四半期累計として、売上高は過去二番目、営業利益は過去三番目、経常利益・当期純利益では過去最高の水準を達成
- 前年同期に好調だった「スラムダンク」、「ゲゲゲの鬼太郎」の国内配信権販売や、主力作品の商品販売事業等の反動で減収も、海外版權事業の好調を背景に、概ね同水準の利益を維持
- 前年同期の新作映像投入分の製作原価減少に加え、収益性の高い海外商品化権販売の好調により、利益率は大きく向上

(百万円)	2026年3月期 第3四半期累計			2026年3月期 第3四半期(2025年10月～12月)				
	実績	前年同期		実績	前年同四半期 25/03 3Q(2024年10月～12月)		前四半期 26/03 2Q(2025年7月～9月)	
		実績	YonY		実績	YonY	実績	QonQ
売上高	67,141	72,700	△7.6%	22,187	23,735	△6.5%	25,465	△12.9%
売上総利益	35,860	34,675	3.4%	11,042	10,395	6.2%	14,430	△23.5%
販管費	12,542	11,298	11.0%	4,363	4,011	8.8%	4,370	△0.2%
営業利益 (営業利益率)	23,318 (34.7%)	23,377 (32.2%)	△0.3% (2.6%)	6,679 (30.1%)	6,383 (26.9%)	4.6% (3.2%)	10,060 (39.5%)	△33.6% (△9.4%)
経常利益	25,078	24,368	2.9%	7,174	7,269	△1.3%	10,762	△33.3%
当期純利益	17,919	16,907	6.0%	4,938	4,688	5.3%	7,751	△36.3%

前年度比増減

- 売上高は、主力作品を中心に海外版權事業が好調を維持するも、「スラムダンク」等の国内外配信権販売、及び商品販売事業の反動減を主因に減収
- 営業利益は、映像事業での減収に起因する減益が、前年同期対比での製作原価減少で一部相殺。また収益性の高い海外版權事業の好調により、概ね同水準維持



2026年3月期 第3四半期 セグメント別内訳（連結）

- 映像製作・販売事業は、前年同期に好調だった「スラムダンク」等の国内外配信権販売の反動減や国内外の大型作品の納品を主因に、減収減益
- 著作権事業は、前年同期に好調だった「ドラゴンボール」シリーズの海外ゲーム化権販売の反動を受け減収ながら、「ワンピース」等の海外商品化権販売が好調に推移したことを主因に、増益
- 商品販売事業は、「DRAGON BALL STORE」の新規稼働や、「プリキュア」シリーズのショップ事業が貢献するも、「スラムダンク」の商品販売の反動減等により、減収減益
- その他事業は、「プリキュア」、「ガールズバンドクライ」の催事が好調に稼働し増収ながら、人件費等が嵩み増収減益

(百万円)		2025年3月期 第3四半期 実績	2026年3月期 第3四半期 実績	増減率
映像製作・販売事業	売上高	28,196	23,477	△16.7%
	セグメント利益	8,697	8,053	△7.4%
著作権事業	売上高	35,007	34,629	△1.1%
	セグメント利益	17,336	18,970	9.4%
商品販売事業	売上高	7,236	6,095	△15.8%
	セグメント利益	766	736	△4.0%
その他事業	売上高	2,704	3,308	22.3%
	セグメント利益	170	46	△72.8%
連結	売上高	72,700	67,141	△7.6%
	営業利益	23,377	23,318	△0.3%

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

2026年3月期 第3四半期 セグメント別分析①（映像製作・販売）

（百万円）		25/03. 3Q 実績	26/03. 3Q 実績
売上全体		72,700	67,141
映像製作・販売事業		28,196	23,477
	劇場アニメ	565	441
	テレビアニメ	2,409	2,077
	コンテンツ	310	438
	海外映像	19,337	17,739
	その他	5,573	2,781
版權事業		35,007	34,629
	国内版權	13,588	11,346
	海外版權	21,419	23,283
商品販売事業		7,236	6,095
その他事業		2,704	3,308

映像製作・販売事業（ ↓ 前期比16.7%減）

- 「劇場アニメ」は、「映画キミとアイドルプリキュア♪ お待たせ！キミに届けるキラッキライブ！」（2025年9月公開）の上映継続に加え、「劇場版総集編 ガールズバンドクライ【前編】青春狂走曲」「劇場版総集編 ガールズバンドクライ【後編】なァ、未来。」を公開しましたが、前年同期に公開した、映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎 真生版」程には至らず、減収
- 「テレビアニメ」は、前年同期と比較して放映作品数が減少したことにより、減収
- 「コンテンツ」は、「ガールズバンドクライ」のブルーレイ・DVDが好調に稼働したことから、増収
- 「海外映像」は、「ワンピース」の配信権販売が好調に稼働したものの、「ドラゴンボール」シリーズの配信権販売・放映権販売の反動減により、減収
- 「その他」は、映画「THE FIRST SLAM DUNK」、映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」をはじめとした、国内の映像配信権販売の反動減により、大幅な減収

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

海外映像の状況

- 北米や欧州において、「ワンピース」の認知度上昇が継続し、好調に推移
- その他映像は、昨年に計上したサウジアラビア向け作品や、「ドラゴンボール」シリーズのビデオ化権販売の更新の反動により減少

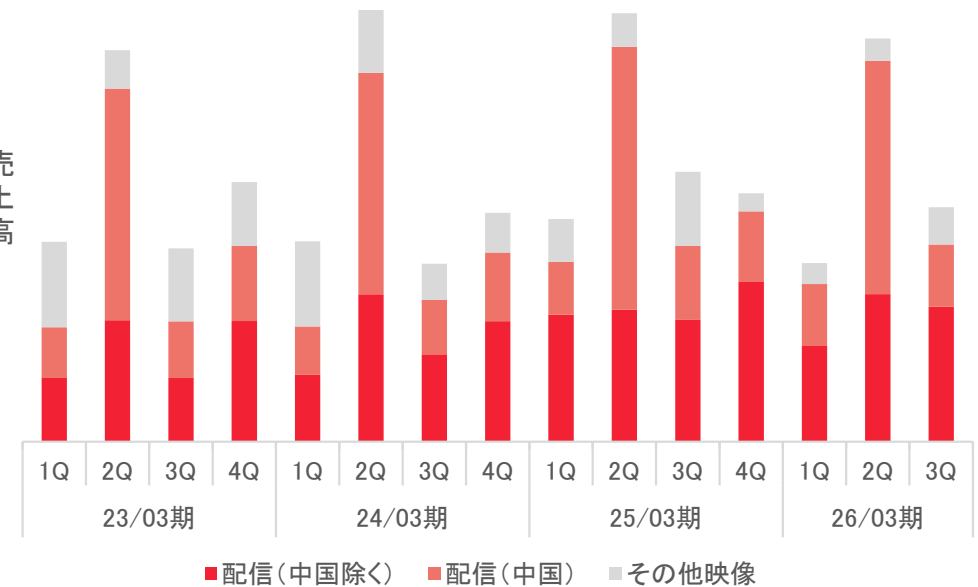
海外映像 売上高の推移

売上高



事業内訳

売上高



※子会社連結決算の都合上、左のグラフは連結、右のグラフは当社単体の数値を使用しております。



「DIGIMON BEATBREAK」

- ・ 2025年10月 5 日より毎週日曜朝9時から放送
- ・ 2026年 1 月 4 日より、新章「タクティクス編」放送



劇場版総集編「ガールズバンドクライ」

- ・ 2025年10月 3 日前編「青春狂騒曲」公開
- ・ 2025年11月14日後編「なあ、未来。」公開
- ・ 韓国、香港、台湾、タイ等海外でも上映開始



2026年3月期 第3四半期 セグメント別分析②（版權・商品・その他）

(百万円)		25/03. 3Q 実績	26/03. 3Q 実績
売上全体		72,700	67,141
映像製作・販売事業		28,196	23,477
	劇場アニメ	565	441
	テレビアニメ	2,409	2,077
	コンテンツ	310	438
	海外映像	19,337	17,739
	その他	5,573	2,781
版權事業		35,007	34,629
	国内版權	13,588	11,346
	海外版權	21,419	23,283
商品販売事業		7,236	6,095
その他事業		2,704	3,308

版權事業（ ↓ 前期比1.1%減）

- 国内版權は、「ワンピース」、「ドラゴンボール」シリーズの商品化権販売・ゲーム化権販売が前年同期の勢いには至らなかったことから、大幅な減収
- 海外版權は、「ワンピース」の商品化権販売、「デジモンアドベンチャー」シリーズの商品化権販売・ゲーム化権販売が好調に稼働したことから、増収

商品販売事業（ ↓ 前期比15.8%減）

- 「ドラゴンボール」シリーズ、「プリキュア」シリーズのショップ事業が好調に稼働したものの、前年同期に好調に稼働した映画「THE FIRST SLAM DUNK」の商品販売の反動減により、大幅な減収

その他事業（ ↑ 前期比22.3%増）

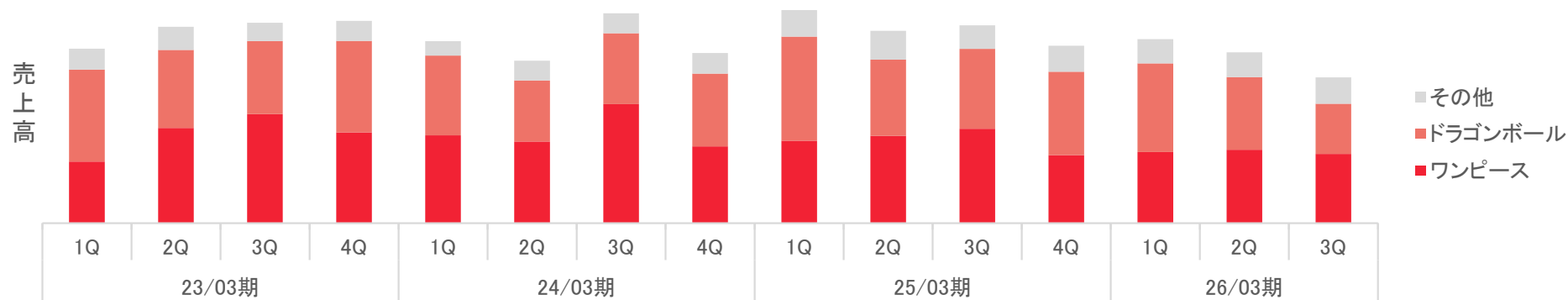
- 「プリキュア」シリーズ、「ガールズバンドクライ」の催事が好調に稼働したこと等から、増収

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

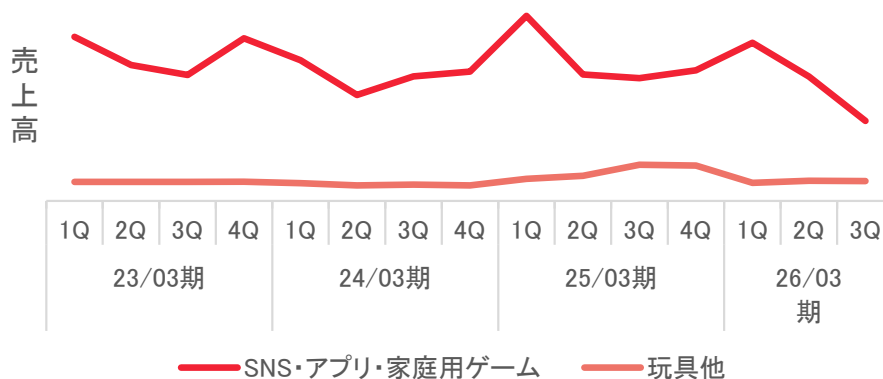
国内版権の状況

- 「ドラゴンボール」シリーズは、ゲーム化権販売、商品化権販売共に昨年のDAIMA放送時の勢いには至らず、減収
- 「ワンピース」は、ゲーム化権販売、商品化権販売共に昨年の周年イベント時の勢いには至らず、減収

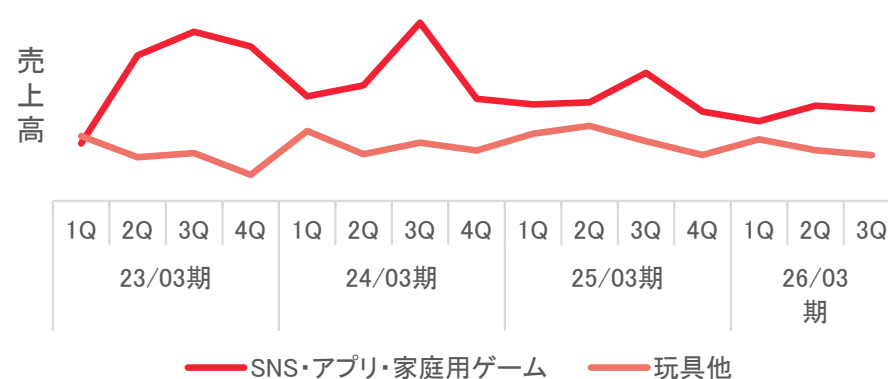
国内版権売上高の推移



ドラゴンボール国内版権売上高の推移



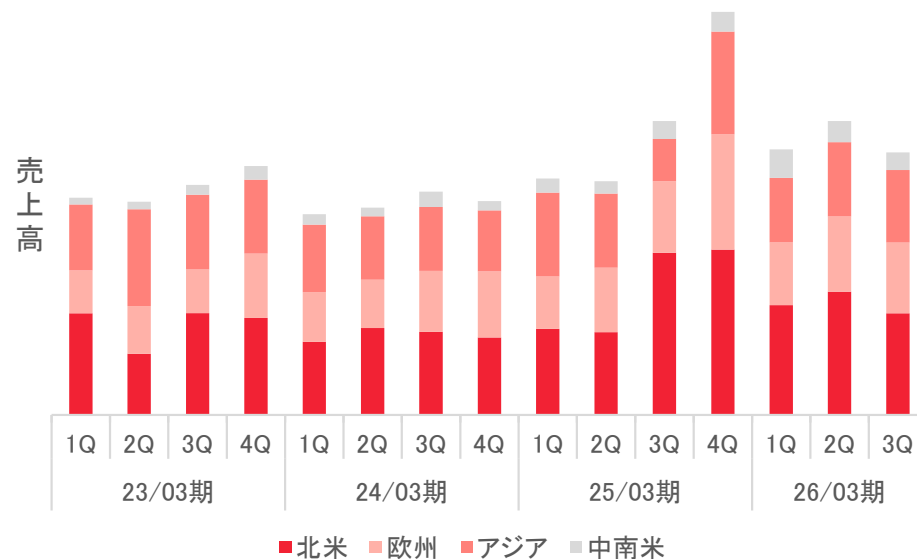
ワンピース 国内版権売上高の推移



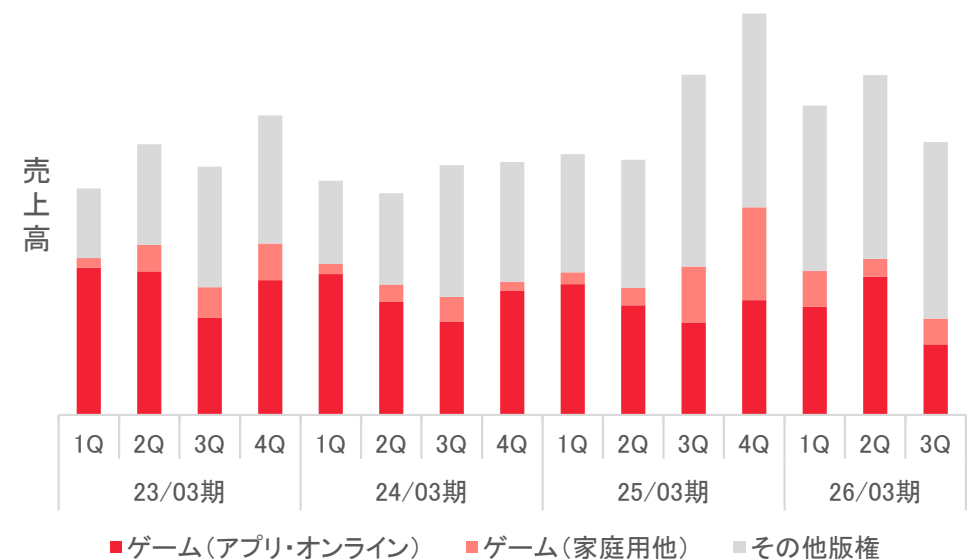
海外版権の状況

- 北米は、昨年の「ワンピース」の商品化権販売における一括計上の反動を受け減収。アジアは、フィギュア等の商品化権販売が好調に推移し、増収
- ゲーム化権販売は、昨年好調に推移した「ドラゴンボール」シリーズの家庭用ゲームの反動を受け、減収

海外版権 売上高の推移



事業内訳



※子会社連結決算の都合上、左のグラフは連結、右のグラフは当社単体の数値を使用しております。

著作権事業・商品販売事業・その他事業_トピックス

国内版權



「ドラゴンボール ゲキシン スクアドラ」



「一番くじ ワンピース 未来島エッグヘッド
~Burst of Energy」

海外版權

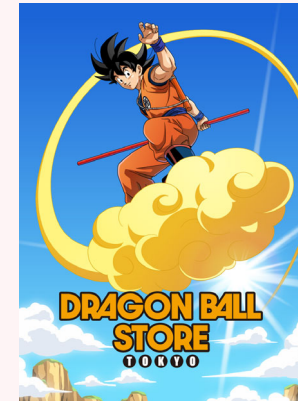


「デジモンストーリー タイムストレンジャー」



「ONE PIECE カードゲーム」

商品販売



「DRAGON BALL STORE TOKYO」

イベント



「トゲナシトゲアリ LIVE in 日本武道館
“奏檄の叫”」

2026年3月期 第3四半期 決算総括

- 前年同期に好調だった国内外の配信権販売の反動等を主因に減収となるも、海外商品化権販売等の好調により、営業利益以下は概ね同水準を維持
- 版權事業における収益性の高い商品群の好調や、新作映像を投入した前年同期対比での製作原価の減少から各種利益率は大きく向上
- 為替差益や有価証券売却益の計上により、経常利益以下各種利益では、増益

	24/12 実績	25/12 実績	増減	増減率
売上高	72,700	67,141	△5,558	△7.6%
売上原価	38,024	31,281	△6,742	△17.7%
売上総利益	34,675	35,860	1,184	3.4%
販管費	11,298	12,542	1,243	11.0%
営業利益	23,377	23,318	△59	△0.3%
営業外収益	1,405	1,770	364	26.0%
営業外費用	413	10	△403	△97.5%
経常利益	24,368	25,078	709	2.9%
特別損益	△270	718	989	—
税引前当期純利益	24,097	25,797	1,699	7.1%
法人税等	6,868	7,524	655	9.5%
法人税等調整額	321	353	32	10.0%
少数株主利益	—	—	—	—
当期純利益	16,907	17,919	1,011	6.0%

B/Sのダイジェスト

- 仕掛品の増加は、来期以降公開予定の作品の製作進捗を反映
- 投資その他の資産は、有価証券の評価益により増加も、長期性預金等の流動資産への一部振替で減少
- 流動負債の減少は、未払い法人税、前受金の減少によるもの
- その他の包括利益累計は子会社との為替換算調整によるもの

(百万円)

科目	2025/03	2025/12	増減	科目	2025/03	2025/12	増減
現金及び預金	82,474	88,527	6,052	支払手形・買掛金	22,125	15,165	△6,959
受取手形及び売掛金	29,376	21,916	△7,459	その他	11,909	8,676	△3,233
仕掛品	8,281	10,876	2,595	流動負債	34,035	23,841	△10,193
製作品	109	48	△61	固定負債	3,745	4,678	932
その他	7,698	7,666	△32	負債合計	37,781	28,520	△9,261
流動資産	127,940	129,035	1,094	株主資本	138,553	147,430	8,877
有形固定資産	8,558	8,742	183	その他の包括利益累計 合計額	14,645	15,878	1,232
無形固定資産	1,281	1,434	153	純資産合計	153,198	163,308	10,110
投資その他の資産	53,199	52,616	△582				
固定資産	63,039	62,793	△245				
資産合計	190,980	191,829	848	負債及び純資産合計	190,980	191,829	848

02. 今期の見通し



業績予想に対する進捗状況、配当予想について

- 売上高は概ね予算通りの水準、営業利益以下は収益性の高い事業の好調により高い進捗
- 第4四半期においても海外版權事業を中心に好調を見込むも、地政学リスクを含め足元の経済環境等に鑑み、期初業績予想は据置きとする
- 安定配当を基本とし、配当予想は維持

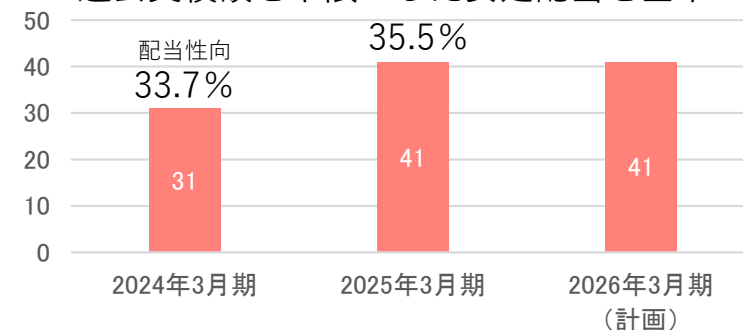
(百万円)	26/03 第3四半期	26/03 通期予想	進捗率
売上高	67,141	88,000	76.3%
映像製作・販売事業	23,477	27,700	84.8%
劇場アニメ	441	700	63.1%
テレビアニメ	2,077	2,300	90.3%
コンテンツ	438	400	109.5%
海外映像	17,739	21,100	84.1%
その他	2,781	3,200	86.9%
版權事業	34,629	46,300	74.8%
国内版權	11,346	17,700	64.1%
海外版權	23,283	28,600	81.4%
商品販売事業	6,095	9,500	64.2%
その他事業	3,308	4,500	73.5%
営業利益	23,318	26,000	89.7%
経常利益	25,078	26,700	93.9%
当期純利益	17,919	19,100	93.8%

進捗状況について

- ・ 映像製作・販売事業
海外映像における円安等の追い風も背景に順調な進捗
- ・ 版權事業
ゲーム化権販売の鈍化を主因に国内版權が予算を下回る。一方、海外における商品化権販売の好調を受け、概ね想定通りの進捗
- ・ 商品販売事業
EC鈍化の影響を受け、予算を下回り推移。新規ストアの貢献により、回復を見込む
- ・ その他事業
催事や物販が好調に推移、概ね予算通りの進捗

配当予想について

(円) 過去実績額を下限とした安定配当を基本



※当社は2024年4月1日付で1対5の株式分割をしております。24年3月期の配当金額は、各期首に株式分割をしたと仮定して計算した配当金額を記載しております。

03. 今期の事業展望



今後の作品展開の予定

既存IPの育成

主要作品企画



「ワンピース」



「THE ONE PIECE」
(制作：WIT STUDIO)

キッズ向け企画



「名探偵プリキュア！」



「おしりたんてい」

その他企画



「DIGIMON BEATBREAK」



「ワールドトリガー」

新規IPの創出/ライブラリ

地産地消型作品



「スパイシーキャンディ」



「花仙子の魔法香対論（原題）」

ハリウッド型作品



「Hypergalactic」

海外スタジオ コラボレーション企画



「高手」

キッズ向け企画



「ELEMOM」



「科学×冒険サバイバル！」

製作委員会参加企画



「地獄先生ぬ〜べ〜」
第2クール

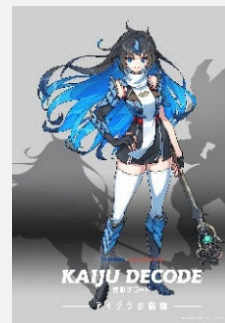
その他新規作品



「ガールズバンドクライ」
完全新作映画



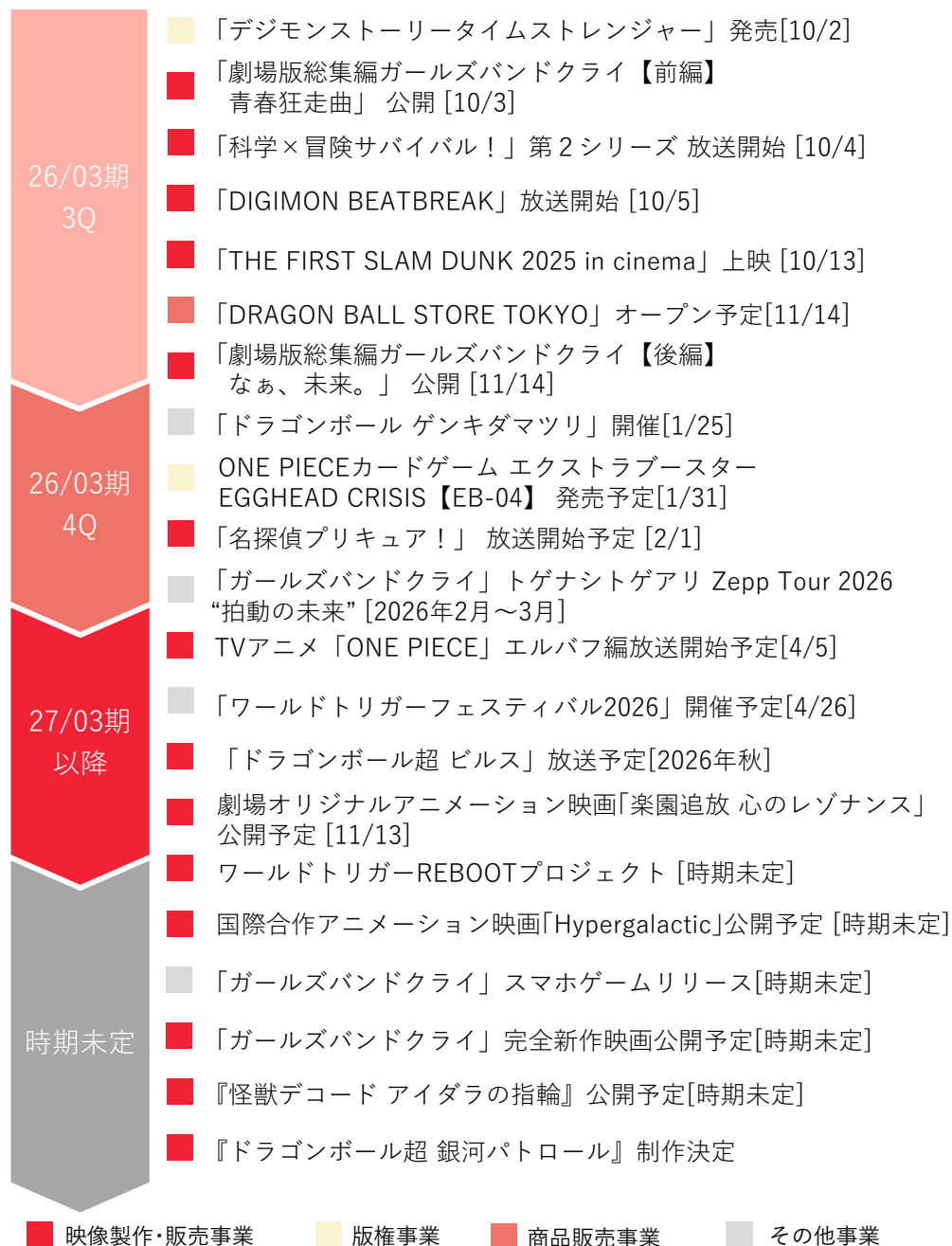
「楽園追放 心のレゾナンス」



「怪獣デコード
アイダラの指輪」

展開スケジュール

Schedule



Topics

26年3月期第3四半期の映像作品の状況

- 「DIGIMON BEATBREAK」
 - 2025年10月5日 放送開始
 - 2026年1月4日より新章「タクティクス編」放送開始
- 「劇場版総集編ガールズバンドクライ」
 - 前編 青春狂騒曲 10月3日 公開
 - 後編 なあ、未来。 11月14日 公開
- 「科学×冒険サバイバル！」第2シリーズ
 - 2025年10月4日 放送開始

新作映像展開

- 「名探偵プリキュア！」
 - 2026年2月1日放送開始予定
- 「ワンピース」エルバフ編
 - 2026年4月5日放送開始予定

TOEI ANIMATION CO.,LTD.



【見通しに関する注意事項】

当資料に記載されている内容は、現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、記載された将来の計画数値、戦略、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

©東映アニメーション © 本郷あきよし・フジテレビ・東映アニメーション ©バード・スタジオ／集英社・東映アニメーション ©Bandai Namco Entertainment Inc.
©尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション ©本郷あきよし・東映アニメーション ©Bandai Namco Entertainment Inc. ©尾田栄一郎／集英社 ©尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション
©バード・スタジオ／集英社・東映アニメーション ©東映アニメーション ©尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション ©尾田栄一郎／集英社・「THE ONE PIECE」製作委員会
©ABC-A・東映アニメーション © トロル・ポプラ社／おしりたんてい製作委員会 © 本郷あきよし・フジテレビ・東映アニメーション ©葦原大介／集英社・東映アニメーション
©TAE-TAES-Tencent-Wawayu All Rights Reserved. ©Spicy Candy Project Committee ©Gomdori co., Kim Jeung-Wook, Han Hyun-Dong／Mirae N／Ludens Media／朝日新聞出版／NHK・NEP・東映アニメーション
©真倉翔・岡野剛／集英社・童守小学校卒業生一同 ©東映アニメーション ©東映アニメーション・ニトロプラス／楽園追放ソサイエティ © Monkey Prince Kingdom Film Partners
©Ryu Ki-woon & Moon Jeong-hoo / WEBTOON・Gosu Committee. ©東映アニメーション・Rymation・アナライズログ © TSUBURAYA PRODUCTIONS, TOEI ANIMATION